



教育 事情

JETRO



バングラデシュ

BOP層実態調査レポート

- 調査実施日 2012年6月～7月
- 調査場所 ダッカ
- 調査方法 学生/教員の30名にインタビューを実施、NGO関係者にヒアリング

*バングラデシュ タカ換算レート 100タカ=約95円(2012年7月末レート)

1.調査結果

バングラデシュの教育分野には、正規教育と非正規教育のセクターがある。非正規教育とは、学校教育を受けていない児童や若者、基本的な読み書きしかできない大人に対して、計算能力と生活に必要な技術を教えるものである。

政府は最近、正規教育に並行するシステムとして増加しているマドラサ(イスラム学校)における教育に注目している。教育省は、マドラサにおける3つの課程(Ebtedayee, Dhakil, Alim)での教育をそれぞれ一般の学校での初等、中等、後期中等教育の水準に揃えた。マドラサのシステムには、上記に加え、FazilとKamilという2つの課程がある。Fazilの履修期間は2年間で、一般大学の2年間の学士課程に相当し、またKamilも一般大学の修士課程に相当する2年間の課程である。

公立学校は別として、多くの私立学校ではベンガル語と英語による教育が行われている。英語を媒介言語とする学校は、基本的に高所得層の子どもが多い。政府は、BOP層がグローバル化時代に適応できるよう、ベンガル語版の教科書に加えて英語版の教科書の導入を進めている。



JETRO



～正規教育～

初等教育

初等教育は5年間で、6歳で入学手続きを行う。1992年以降、初等教育は無料であり、義務化されている。前期中等教育に進むためには、小学校を卒業する必要がある。5学年の修了時に公的な試験が実験的に実施されてきたが、それが初等教育修了認定(PSC)試験として実施されるようになってきている。2010国家教育方針によれば、今後初等教育を8学年までに延長し、その間の授業料は無償化されることが示されている。

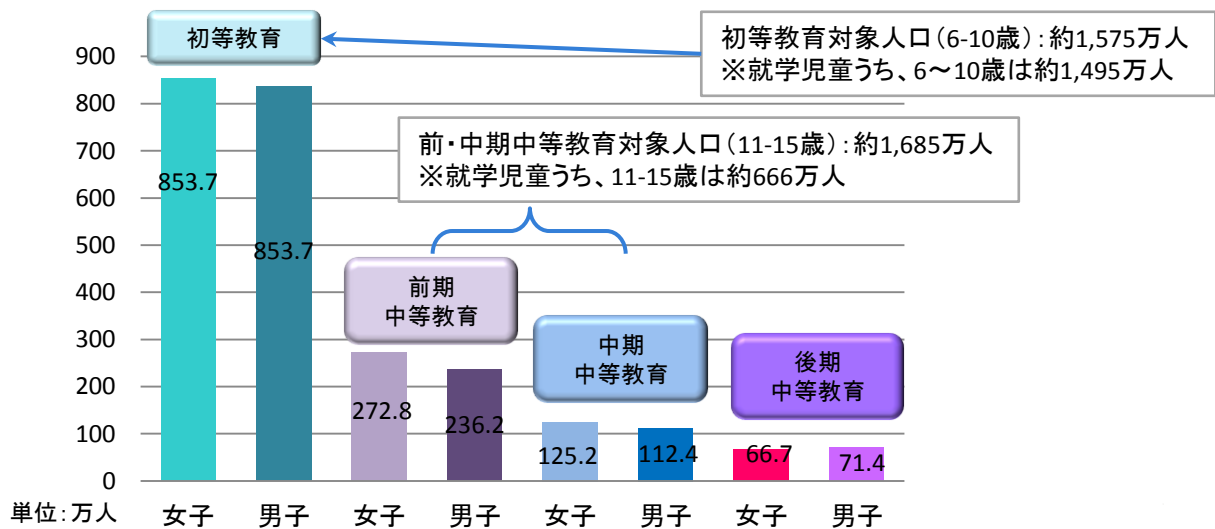
中等教育

中等教育は3段階で構成されている。

- 前期中等教育－6学年から8学年まで(2010国家教育方針では、義務教育の8学年までの延長が決定されたが実施に至っていない)
- 中期中等教育－9学年と10学年
- 後期中等教育－11学年と12学年

中等教育のうち、6学年から10学年までは、中学校と高校で教育を受け、後期中等教育(11学年と12学年)の期間は、中間(intermediate)カレッジや学位授与権を持つカレッジで教育を受ける。しかし2010国家教育方針により、現行の制度において、生徒にとって2度目の公的試験となる前期中等教育修了認定(JSC)試験が導入されている。JSCに合格した生徒は、中期中等教育に進むことができる。9学年になると、人文、科学、ビジネスの3コースに分かれる。10学年修了時に3度目の公的試験が実施される。この中期中等教育修了認定(SSC)試験に合格することが2年間の後期中等教育に進むための要件である。バングラデシュには、オープン大学と呼ばれる貧困層の働く学生のための大学がある。オープン大学の授業は金曜日のみであり、試験も金曜日に行われる。

就学状況(初等教育・中等教育)



(出所: バングラデシュ教育情報統計庁 http://www.banbeis.gov.bd/es_bd.htm)



教育事情

バングラデシュ BOP層実態調査レポート

技術・職業教育

JSC試験に合格した生徒は、技術・職業教育に進むこともできる。SSC(職業)コースの入学要件は、8年間の一般教育を修了することである。SSC(職業)コースは、9学年と10学年の2年間であり、カリキュラムには、一般教育に加えて職業に関わる技能の習得が含まれている。一般教育では、応用に重点が置かれる。職業教育は、国家技能基準(NSS)の取得を目指す内容となっている。SSC(職業)コースが設けられているのは、農業、製陶、工学、漁業、皮革、畜産、繊維などの分野である。NSSには、ベーシック、NSS II、マスターの3種類がある。HSC(職業)は、2年間のプログラムであり、11学年と12学年で構成される。HSC(職業)コースに合格した生徒は、技術、工学、および一般教育の分野でさらに高いレベルの教育を受けることが可能であり、またNSSグレード I、すなわち高度技能労働者として職を得ることもできる。HSC(職業)コースの入学要件は、それぞれの専門分野におけるSSC(職業)の取得である。技術分野の教育を受けている学生数は、教育機関全体における新規学生に比較し、2010年には前年に比べて6.23%減少している。

高等教育

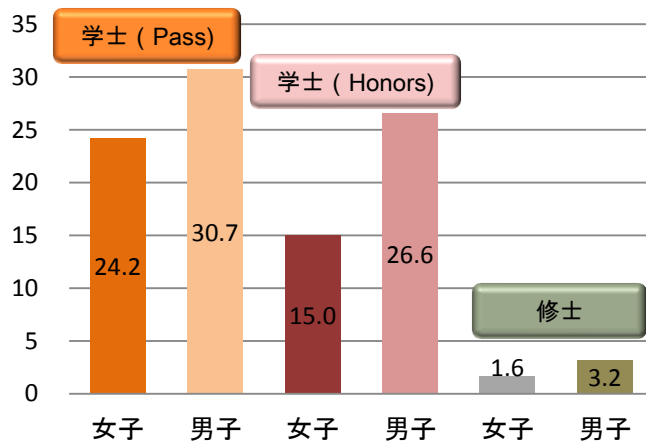
高等教育は、国公立および私立の大学で提供される。HSC取得者は、3年間で学位を取得するPassプログラム(現在は4年)、4年間で取得するHonorsプログラム、およびその他の工学/技術コースなどの高等教育の履修が可能である。HonorsおよびPassプログラムを修了した学生は、修士課程に進むことができる。修士課程の履修期間は、Honors学位取得者は1年間、Pass学位取得者は2年間である。

ある特定の分野または専門分野においてM.Phil(研究修士)および博士の学位取得を希望する学生はM.Phil課程で2年、さらに博士課程で1年の履修が必要である。

バングラデシュ政府は、教育の普及に向けた重要な取り組みを進める中で、2010国家教育方針の策定、義務教育の無償化などを実現しており、また女子生徒に対しては最長12学年まで奨学金を給付している。奨学金の資格を得るためには、給付を受ける女子生徒にはSSCの修了まで結婚しないこと、75%以上の出席率を維持すること、そして最終試験では、45%以上の得点を修めることが求められている。

現在、政府は、膨大なマンパワーを活用して豊富な人材を育成するため、技術教育にこれまで以上に重点を置いている。また、各セクターにおいて優れた技能を持つマンパワーを育成するための技術的ノウハウを求めている。マドラサの場合、高等教育を受けるための最低要件はAlim(HSCに相当)認定である。Alimの試験に合格した学生は、Fazilでの2年間の教育を受けることができる。

就学状況(高等教育)



単位: 万人

(出所: バングラデシュ教育情報統計庁
http://www.banbeis.gov.bd/es_bd.htm)



教育事情

バングラデシュ

BOP層実態調査レポート

(参考)バングラデシュの現行の教育制度

年齢	学年														
26+															
25+	20					工学博士	医学博士								
24+	19			博士	Post医学士・ 外科学士ディプロマ				教育博士						
23+	18		M.phil		M.Phil (医学)										
22+	17	修士(学芸、科学経営学、宇宙科学)		法学修士	医学・外科学士 歯科学士	工学修士	農学修士	MBA	教育学 教育学修士		修士 (Lsc)				
21+	16	学士	修士(Prel)	法学学士(Hons)		学士 (工学、 農学、 繊維学、 皮革学)	工学 学士	学士 (技術 教育)	経営学 学士	教育学学士	哲学学士 (教育)	ディプロマ (Lsc)	Kamil		
20+	15		学士(Pass)							工学 ディプロマ	教育学 サティ フィ ケート	農学サティ フィ ケート		商学 ディ プロ マ	看護 ディ プロ マ
19+	14						Fazil								
18+	13							Alim							
17+	12	後期中等教育	試験 後期中等教育修了認定 (HSC)	Alim											
16+	11		Alim												
15+	10	中等教育		試験 中期中等教育修了認定 (SSC)	商業教育認定 /SSC 職業訓練	製陶などの職人養成コース		Dakhil							
14+	9		Dakhil												
13+	8			前期中等教育	Ebtedayee										
12+	7	Ebtedayee													
11+	6		Ebtedayee												
10+	5					Ebtedayee									
9+	4			Ebtedayee											
8+	3	Ebtedayee													
7+	2		Ebtedayee												
6+	1				Ebtedayee										
5+				就学前教育											
4+		就学前教育													
3+			就学前教育												



～その他教育の機会～

多くのNGOが、十分な食糧、衣類、住居を持たない住民を支援している。バングラデシュでは400を超えるNGOが活動しており、初等教育の分野に改革をもたらしている。企業がCSRプログラムとして教育を提供することが、BOP層の人々の運命を変えることにつながる。企業の中には、CSRプログラムの下でBOP層の人々に対して教育を提供するという重要な役割を担ってきたものがある。初等教育に関しては、複数の革新的なプログラムが、こうした目的を達成するために政府およびNGOにより進められている。

一般的に革新的プログラムが備えるべき主な特徴としては、

- (a) 直接的な経験・実践に基づくものである。
 - (b) 費用効率が高い。
 - (c) 容易に検証可能な結果を示すことができる。
 - (d) サブシステムの中で相互に依存できる。
 - (e) 達成度を計測するためのメカニズムが組み込まれている。
 - (f) 運営がシンプルでしかも効果的である。
 - (g) プログラムの参加者に強いチームスピリットをもたらすものである。
- 以上の点が挙げられる

義務教育分野における有望で革新的なプログラムの例を以下に紹介する。

■BRAC 非正規初等教育プログラム: このプログラムは、バングラデシュ農村向上委員会(BRAC)が開発したものであり、正規の小学校に入学できなかった8歳から10歳の子どもを対象としている。したがって、学校に通ったことのない年長の子どもたちが学んでいる。このプログラムは1学年から3学年までの教育内容を提供する。

■GSS 初等教育プログラム: このプログラムに取り組んでいるのは、Gono Shahajjo Shangstha(GSS)である。正規の小学校に入学できなかった子どもたちがこのプログラムの学校で学んでいる。児童は3学年までこの学校で学ぶことができるが、現在、5学年までの延長が進められている。通常、授業は、GSSが建てたレンガ造りの校舎で行われる。

■CMES技術学校: 科学大衆教育センター(CMES)という科学・技術に重点を置くNGOが進めているプログラムである。1学年と2学年には一般教育を、3～5学年には、環境や生活に関連する技術教育も行っている。プログラムの目的は、技術教育の実生活における重要性および影響に対する意識を高めることである。

■政府によるサテライトスクール・プログラム: このプログラムの下、補助的学校(feeder schools)が正規の小学校の学区内に設立され、学校が遠すぎて歩いて通学できない低学年の児童が、1学年および2学年の初等教育を受けることが可能となっている。プログラムの目的は、学校施設を貧困児童、特に女子児童の自宅近くに設け、確実に通学させることである。指導を担当するのは2、3人の女性ボランティア教員で、報酬はわずかである。こうした学校は、完全に地元コミュニティが運営している。

■ダッカ・アーサニア・ミッション代替小学校プログラム: このプログラムの対象は、6歳から8歳の児童である。このコースは、3つの学年について各9カ月間、計27カ月実施される。学校の敷地は、地元コミュニティが提供する。

■UCEP School: 「恵まれない子どものためのプログラム学校」は、6歳から14歳の働きながら学ぶ児童を対象とする特別プログラムである。プログラムの期間は7年間であり、一般教育に加えて技術教育が提供される。

■テレ・デス・ホメス(TDH)ストリートチルドレンプログラム: このプログラムの対象は、鉄道の駅、バス乗り場、船着き場などで働く8歳から10歳の児童である。警察などの地元当局の協力の下、こうした子どもたちをそれぞれの仕事場の建物に集めて授業を行っている。授業には、BRACのカリキュラムと教材が使われる。



教育事情

バングラデシュ BOP層実態調査レポート

2. ビジネス機会

バングラデシュ政府は技術教育に対して関心が高く、現在、技術教育委員会は技術・職業教育訓練(TVET)改革プロジェクトに取り組み、8学年から技術教育を実施することを計画している。

また、経営者で作る協会が、業界が運営する訓練センターを開設する動きが見られる。バングラデシュ衣類縫製品製造・輸出業者組合(BGMEA)は、ファッション・技術協会(BIFT)を立ち上げたが、この組織は完全に自己資金で運営される訓練機関である。チッタゴン技能開発センター(CSDC)は、業界ベースの技能訓練のための業界と政府の協力モデルとして、経営者が開設したものである。世界銀行は、このセンターに資金の拠出やグラントの提供を行うドナーを積極的に特定するといった形で技術支援を行っている。バングラデシュ・韓国技術訓練センターは、韓国の経営者の協力を得て人材雇用訓練局(BMET)が設立した同様の機関である。

初めに、次の8分野が改革の対象に選ばれた。

- ・皮革・皮革製品
- ・情報技術
- ・農業・食品加工
- ・輸送用機器
- ・建設
- ・軽工業
- ・既製服
- ・非公式経済

このように、TVETプログラムを活用した産業界の改革には大きな可能性がある。日本のような技術国は、バングラデシュの多くの面で貢献するものと期待されている。

バングラデシュ国民の約35～40%(総人口：約1億6,000万人)は、貧困ライン以下の生活を送っており、これらの多くの貧しい国民は、経済的理由から適切な教育を受けていない。そのため、毎年多くの児童が義務教育を終える前に中退し、児童労働に従事することになる。こうした子どもたちに学習を継続させるため、多くのNGOと政府が、学校給食、金銭支援、教科書の無償配布、各種給付金、奨学金などの様々なインセンティブを提供する取り組みを進めている。しかし、多くの場合、奨学金や給付金が受けられるのは優秀な生徒に限られている。

TVETプログラムに関しては、日本は非常に健全な技術・経営システムを持っているので、大いに力を発揮することが期待される。8分野の中で、既製服は技術支援の必要性が特に高い重要な分野と考えられる。既製服分野では、約500万人の縫製労働者が働いている。したがって、既製服に関する技術訓練機関が地方に設けられ、村の女性の職業訓練が行われるようになれば、既製服分野の経営者にとってメリットが非常に大きく、こうした訓練を受ける貧しい女性たちを支援することにもつながる。このように、バングラデシュ職業教育の分野は極めて大きな可能性を持っていると考えられる。

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。JETROでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、JETRO及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。